

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

学校のテストには、たいいてい正解がある。答えが合っていれば丸、違えばばつだ。私たちは長いあいだ、この形の問いに答える練習をしてきた。そのせいか、どんな問いにも、どこかに一つの正解が用意されていると考えがちである。

しかし、生活の中で出会う問いの多くは、そうではない。部活を続けるかやめるか。友だちとけんかしたとき、先にあやまるかどうか。こうした問いには、誰にとっても同じ一つの正解はない。どちらを選んでも、得るものと失うものがある。

正解が一つでない問いに向き合うとき、私たちはつい、誰かに正解を教えてほしくなる。先生や親、あるいはインターネットの意見に答えを探す。もちろん、ほかの人の考えを聞くことは役に立つ。けれども、その答えは、その人の状況や大切にしているものから出てきたものであり、そのまま自分の答えになるとはかぎらない。

では、どうすればよいのか。大切なのは、「どれが正しいか」ではなく、「自分は何を大切にしたいのか」を問うことである。部活を続けるかどうかは、仲間との時間を大切にしたいのか、別のことに時間を使いたいのかなによって、答えが変わる。自分が大切にしたいものがはっきりすれば、選ぶべき道も見えてくる。

正解が一つでない問いに答えを出すことは、自分がどんな人間でありたいかを決めることでもある。その答えは、あとで変わってもかまわない。大切なのは、他人の正解を借りるのではなく、自分で考えて選んだという事実である。そうして選んだ答えは、たとえうまくいかなかったとしても、次に考えるための確かな足場になる。

(この問題のための書き下ろし)

問一 筆者は、私たちはどんな問いにも何があると考えがちだと述べていますか。本文中から二十字以内で抜き出なさい。

どこかに一つの正解が用意されている

問二 第二段落で、筆者が部活やけんかの例を挙げたのはなぜですか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 生活の中の問いには、誰にとっても同じ一つの正解がないことを示すため。  
 イ 部活やけんかは、中学生にとっていちばん大切な問題だと示すため。  
 ウ テストの問いよりも、生活の問いのほうがやさしいことを示すため。  
 エ 先生や親に相談することが大切だと示すため。

ア

問三 筆者は、ほかの人の答えは何から出てきたものだと述べていますか。本文中から二十字以内で抜き出なさい。

その人の状況や大切にしているもの

問四 筆者は、正解が一つでない問いに向き合うとき、何を問うことが大切だと述べていますか。本文中から十五字以内で抜き出なさい。

自分は何を大切にしたいのか

問五 筆者は、自分で考えて選んだ答えにはどんな意味があると述べていますか。「うまくいかなかったとしても」という言葉を使って、六十字以内で説明しなさい。

他人の正解を借りずに自分で考えて選んだ答えは、あつちのまじかに自分とちがうものがある。だから、自分の考えとちがうものがある。だから、自分の考えとちがうものがある。だから、自分の考えとちがうものがある。

## 【中3】国語 文章問題 説明文 5 答えと解説

問一（二十点） 答え：どこかに一つの正解が用意されている （一つの正解 でも正解）

解説：第一段落の最後の一文が根拠。テストの形の問いに答える練習をしてきたことが、その理由として述べられている。

問二（二十点） 答え：ア

解説：例の直後の「こうした問いには、誰にとっても同じ一つの正解はない」が根拠。

問三（二十点） 答え：その人の状況や大切にしているもの

解説：第三段落の最後の一文が根拠。だから「そのまま自分の答えになるとはかぎらない」と筆者は続けている。

問四（二十点） 答え：自分は何を大切にしたいのか

解説：第四段落の「大切なのは、『どれが正しいか』ではなく、『自分は何を大切にしたいのか』を問うことである」が根拠。「どれが正しいか」と取り違えない。

問五（二十点）

答えの例：他人の正解を借りずに自分で考えて選んだ答えは、うまくいかなかったとしても、次に考えるための確かな足場になるという意味。

解説：最後の段落の「他人の正解を借りるのではなく、自分で考えて選んだ」「たとえうまくいかなかったとしても、次に考えるための確かな足場になる」が根拠。

採点のポイント：① 他人の正解を借りず、自分で考えて選んだ答えである ② うまくいなくても、次に考えるための足場になる（二つそろって満点、一つなら半分）